【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2016-133828(P2016-133828A)
【公開日】平成28年7月25日(2016.7.25)
【年通号数】公開・登録公報2016-044
【出願番号】特願2015-6038(P2015-6038)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/0488　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0485　(2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/048　６２０
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成28年7月28日(2016.7.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表示部と、
上記表示部の表示領域とは異なる位置に配置された操作面と、
上記操作面に近接または接触する物体を検出する物体検出部と、
制御部とを備え、
上記制御部は、
第１のモードおよび第２のモードを有し、
上記第１のモードでは、ユーザの操作に対応する上記表示領域上の位置を特定し、
上記第２のモードでは、上記表示領域に表示されている１または複数のオブジェクトのうち、上記第１のモードにおいて特定した位置に対応する対象オブジェクトを、上記物体検出部に対する操作に応じて移動させることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
上記制御部は、上記第１のモードから上記第２のモードに遷移したとき、上記表示領域上に標識を表示させ、
当該標識の表示位置は、上記対象オブジェクト上であることを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
上記制御部は、上記第２のモード中、上記標識の表示位置を移動させないことを特徴とする請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
上記制御部は、上記第１のモードにおいて、上記物体検出部に対してタッチダウンおよび長押しがなされたとき、上記第２のモードに遷移し、当該第２のモードでは、上記表示領域に表示されている１または複数のオブジェクトのうち、上記タッチダウンに対応する上記表示領域上の位置に対応する上記対象オブジェクトを、上記物体検出部に対する操作に応じて移動させることを特徴とする請求項１～３の何れか一項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
上記制御部は、上記第２のモードにおいて、上記物体検出部に対してシングルタップが

なされたとき、上記第１のモードに遷移することを特徴とする請求項１～４の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項６】

上記制御部は、上記第２のモードにおいて、上記対象オブジェクトを、上下左右の少なくとも１つの方向に移動させることを特徴とする請求項１～５の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項７】

情報処理装置の制御部としてコンピュータを機能させるための制御プログラムであって、

上記情報処理装置は、表示部と、上記表示部の表示領域とは異なる位置に配置された操作面と、上記操作面に近接または接触する物体を検出する物体検出部と、を備え、

上記コンピュータを、第１のモードおよび第２のモードを有し、上記第１のモードでは、ユーザの操作に対応する上記表示領域上の位置を特定し、上記第２のモードでは、上記表示領域に表示されている１または複数のオブジェクトのうち、上記第１のモードにおいて特定した位置に対応する対象オブジェクトを、上記物体検出部に対する操作に応じて移動させる上記制御部として機能させることを特徴とする制御プログラム。